五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人　口
８，０６８人

世帯数
３，３８８世帯

令和７年１２月現在

豊かに過ごす秋の一日
第17回　五常文化祭

11月16日、このうえなく晴れ上がった日曜日、五常小学校の体育館にて、今年で17回目となる五常文化祭が開かれました。

まず午前中は、五常っ子たちが日ごろ磨いた腕の冴えを披露する「G-1(ごじょわん)グランプリ」。和太鼓にはじまり、ピアノ、リコーダー、ダンスに剣道と演目はさまざま。

司会進行から、幕間に出演者へのインタビューをはさむ心憎い構成まで、子どもたち自身が練り上げたものです。

合唱を聴かせてくれたデュオは、伴奏が流れない音声トラブルに見舞われながらも、急遽(きゅうきょ)アカペラに切替えて歌い切り、その機転とステージ度胸には賞賛の声しきりでした。

体育館後部には、校区の高齢者施設入居者の方々による作品や、五常生が描いた平和ポスターが展示されました。

心なごむ作品たち

五常小構内に自然の川を模して作られた生物観察施設「ごじょトープ」の環境整備をしてくださっている「五常小をホタルの郷に」実行委員会のブースでは、ごじょトープ誕生から現在までの歴史をパネル展示。写真の花や果実は、すべてごじょトープで育ったものだそうです。

ごじょトープ産の花と果実

その隣の五常小・学校運営協議会・保健人権部会のブースでは、先生方が推薦する性教育関連図書や絵本などを展示。タブレット端末を用いて、動画による活動紹介も行いました。

暖房のない外の廊下では肌寒い中、びか(美化)ボランティアの皆さんによる篝(ほうき)やクリスマス飾り作りのワークショップがオープン。

自分で作ったアクセサリがツリーを飾るクリスマスは、いつもよりずっと楽しいことでしょう。

声をかけるのもためらわれます

午後からは、第四中学校と香里丘高校の吹奏楽部によるジョイントコンサート。開演時刻が例年に比べやや遅めになったのは、香里丘高校の皆さんが午前中、ザ・シンフォニーホールに出演していたため。売れっ子なんですね。

部員みずから指揮をとる曲も

今年もご協力いただいたボランティア、実行委員の皆さま、有難うございました。

夏から秋へ 五常祭り

これまでは暑い盛りの行事だった五常夏祭り。近年のただならぬ気温上昇により熱中症被害も危ぶまれることから、今年は秋分を過ぎた９月27日（土）、「五常祭り」として開催されました。

会場となった五常小学校の校庭には、キッチンカーがずらり。今回初登場の射的、スマートボールなどの縁日屋台も、予想を上回る人気ぶりでした。

狙うは
たべっ子どうぶつと見た！

夕刻からは、昨年に続き新舞踊紅流家元・紅（くれない）久寿（ひさじゅ）先生ご指導のもと、盆踊り大会。跳んだりはねたり、なかには体力の限界に挑戦するように、へとへとになるまで踊りまくった子もいたようです。

もうどうにも止まらない

そして最後は、お待ちかねの大抽選会。賞品の中には、なんとお米も登場しました。

ここ一年の価格高騰は誰もが知るところ。子どもたちはともかく、家計を預かるお母さん方にとっては魅力的だったでしょう。

今回の終了時刻は夕方5時。ようやく陽が傾き、長い影が伸びはじめた頃のお開きでした。

思わずニヤニヤ、特賞ゲット

給食試食会

10月8日のお昼時、五常小学校の家庭科室で、同校学校運営協議会主催の給食試食会が開かれました。

子どもたちが日頃どんなものを食べているのか、保護者や地域の皆さんに広く知っていただく試みです。

昔に戻って給食当番

食事前には、五常小はじめ市内8小学校、3千4百食分の給食を担当する第一学校給食調理場の方からお話を伺いました。

給食のある日は30人体制で朝6時半から準備にかかり、11時過ぎにはすべての学校に届け終わるという、めまいのしそうなハードスケジュール。

その中で国内産ひいては地元産の食材にこだわり、可能な限り加工食品の使用を避け、シチューやカレーのルウも一から手作りされているそうです。

大阪関西万博の会期中、数度にわたり参加国の郷土料理をアレンジした新メニューが登場したそうですが、この日はその最終日。

主菜は開催地大阪の粉モン文化の代表にちなんだ「お好み揚げ」。お好み焼き風のかき揚げに、ソースをかけていただく趣向です。

しいたけ、にんじん、ごぼうなどを炊き込んだかやくごはんも含め、とても薄味で控えめな印象。おそらくこれこそ健康的な味つけなんでしょうね。

わかっていてもついつい濃い味に走りがちな調味料まみれの食生活を、やんわりたしなめられた気がしました。

警察署長はトップスター

10月19日(日)の午後、枚方市警察署管内防犯協議会主催による「安全安心まちづくり枚方大会」が開催されました。

会場となったニッペパーク岡東中央には、パトカーやレスキュー車などの警察車両が所狭しと並べられ、子どもたちは試乗を楽しみました。

スカイブルーに輝くボディー

中でも珍しかったのは青バイ。ひったくりに代表される路上犯罪を取り締まるために導入されたバイクです。狭い路地での犯人追跡を可能にするため、小ぶりの車種が採用されているのだとか。青バイに追われるような行為だけは、絶対に御法度ですよ。

でも、何より注目を集めたのは一日警察署長に任命されたOSK日本歌劇団のトップスター、翼(つばさ) 和希(かずき)さんです。

まさに男装の麗人

2年前のNHK連続テレビ小説「ブギウギ」で一躍知名度が増した彼女は枚方市出身。市のPR大使も務めます。

ステージ前は、地元の星をひと目見ようと集まった人たちでいっぱい。関西テレビ、共同通信など、マスコミ各社も取材に訪れていました。

失礼して
アップも1枚

上背はさほどないものの所作がきびきび美しく、さすがのオーラが感じられます。今後のさらなる活躍に期待したいものです。

紅葉の煙突山

11月8日(土)、妙見山配水池(煙突山)にて、秋の煙突山見学会が開かれました。

ここは市内約15％への給水を預かる重要な配水施設のため、普段は立入禁止。限られた機会にしか入場できません。

好天にも恵まれたこの日は、「市内の戦争遺跡バスツアー」の参加者約20名を含め、124名の来場者が紅葉と遥かな眺望を楽しみました。

これぞホントの上から目線

ここに立つ大煙突は、香里ヶ丘一帯が陸軍の軍需工場だった頃、湿った火薬を乾燥させるのに使われたボイラーの煙突。戦後は「不戦と平和」のシンボルとして保存されているものです。

そのあたりの来歴を含め、正時ごとに共催の枚方市人権政策課による解説が行われ、来場者は熱心に耳を傾けました。

祝　受賞

今年度の枚方市菊花展では、五常小児童の育てた菊が、枚方市教育長賞に輝きました。おめでとうございます。

ドーム作り　三鉢組

(第3面　トップスター降臨)

校区だより　もしもに備えて

京阪バス・南さつき丘停留所からパナソニックアリーナのフェンス沿いに西へ進んだ所に建つ朝日プラザ香里菊ヶ丘で11月30日(日)、防災訓練が行われました。

第一部は安否確認訓練。9時50分のサイレンを合図に、各戸ではマグネット式の「無事ですカード」をよく見える場所に貼付。10時になると自主防災組織役員と防災ボランティアの方たちが12階まで全117戸を見て回り、結果をホワイトボードに記入します。

住民の安否状況が一目瞭然

過去の訓練では貼付率が6割前後でしたが、今回は8割に迫る勢い。回を重ねるにつれ、訓練の認知度や住民の防災意識も高まりつつあるようです。

11時からの第二部は、隣接する菊ヶ丘南公園で枚方市消防団・蹉跎(さだ)分団の指導の下、初期消火、簡易トイレの使い方、隣室との境にあるパーテーション(隔て板)の破り方などを実習しました。

バコン！見事な後ろ蹴り

パーテーションは、背を向けて中央部を靴のかかとで蹴るのがコツ。炎や煙で玄関からの脱出が難しい場合や、避難はしごが必要な場合は、この方法で住戸を移動します。マンションの避難はしごは、限られた住戸にのみ設置されていることが多いためです。

避難はしごが、どこに設置されているか、普段からしっかり確認しておくことも大切ですね。

雨に泣いた美化運動

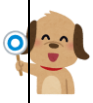
11月は美化運動推進月間。各自治(理事)会では、自宅周辺の清掃を行います。ところが今年は…。

朝から大粒の雨が降りしきる11月9日(日)、六香会と五常シニアクラブが予定していた五常公園の清掃は中止に。

雨がなんだ！
【レジデンス香里ヶ丘中央】

同日、第四中学校と中央公園の中間に位置するレジデンス香里ヶ丘中央では、雨を押して階段や駐輪場などの共有部分を清掃したものの、作業後に屋外で予定されていた懇親会はお流れになってしまいました。

なお最近、五常校区内の公園にペットのトイレを放置する事例が多数報告されています。散歩の際はスコップ、レジ袋等を持参し、必ず持ち帰りましょう



編集後記

前回の防災フェスティバルの際、「地震体験車に乗れるのはこれで最後」みたいなことを書きましたが、まさかの連続当選。「詐欺や！」そう言わず今度も体験してください。(広報委員会)

第36回　とんど祭り

日時：2026年1月11日(日)　10:30 ～ 12:00

※熱々の豚汁も、ご用意してます！(お椀とお箸を持ってきてね)

※焼くものの受付は、10:50まで／豚汁は11:10から

第23回 防災フェスティバル

場所はどちらも
五常小学校運動場

日時：2026年2月15日(日)　9:00 ～ 12:00

※地震体験車で、震度7を体験してみよう！

※煙の中を避難する、煙道体験も